

植物多様性センターの「シイとカシの冬芽」

冬でも緑の葉をつけるブナ科のシイやカシの仲間は、つややかな革質の葉をもつ常緑広葉樹です。同じブナ科のクヌギやコナラなどの落葉広葉樹と比べると、変化に乏しくみんな同じように見えてしまいます。葉の形はもちろんですが、この時期のおすすめは冬芽です。葉の特徴とともに冬芽の形をよく観察すると、その樹種独特の個性が見えてきます。樹種に迷ったら、ぜひ冬芽を見てください。



スダジイ: 黒っぽい葉と芽鱗の少ない先が丸く細長い冬芽



マテバシイ: 鋸歯のない大きな葉と小さな丸い冬芽



シラカシ: 細かな鋸歯のある細長い葉と卵形の芽鱗が特徴



アラカシ: 粗い鋸歯のある葉と芽鱗が重なった大きな冬芽